

## 事業者向け

## 児童発達支援 自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			法令を遵守したスペースの確保。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			必要とされる配置数に加え、指導員1名以上配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			ビルの4階であるがエレベーターあり。事業所内バリアフリーになっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		<input type="radio"/>		定期的に、運営会議とカンファレンスの開催にてPDCAを取り入れる。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	ご利用者が増えてくればアンケートの活用をして保護者等の意見を聞きたい。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			保護者向けには出来ておりません。今後行う予定です。HP公開します。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			<input type="radio"/>	現在実施しておりません。検討しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			外部研修に積極的に実施し、事業所に持ち帰り伝達講習を随時行っています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			定期的に、アセスメントやモニタリングを行い、児童発達支援計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	<input type="radio"/>			大阪府推奨する利用者調査票を用いています。
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容がせっていされているか。	<input type="radio"/>			児童発達支援計画書には、利用者に必要な総合的な支援内容を設定するように配慮しております。
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>			児童発達支援計画書を基に、療育プログラムを行っています。
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			ケースカンファレンス開催にて行っています。
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	<input type="radio"/>			発達段階や特性、その日の状態などを考慮し、自身が主体的に取り組めるよう工夫しています。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	<input type="radio"/>			常時、個別対応となっています。

	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝礼にて職員間での情報共有を行っています。支援終了後も、情報共有を行っています。
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			6ヶ月に一度行っています。サービスでの情報や他の機関と保護者より情報を共有するよう努めています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			参加することで家族や支援者の思いが確認でき、情報や目標が共有できるため児童発達支援管理者が参加します。
	21	母子保健や子ども・子育ての支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか。	○			保育園や幼稚園、子ども発達支援センターや障害福祉課、こども課などと相談報告を行えるよう努めています。
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか。			○	現在、医療的ケアが必要なお子様は、受け入れる体制をとっていません。
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、こどもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか。	○			
	24	保育所や認定こども園、幼稚園特別支援学校等の間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			アセスメントツールの結果を用いて情報提供できる体制を整えています。
	25	小学校や特別支援学校との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。	○			外部研修は、積極的に参加しています。
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	交流できる機会が作れていません。今後イベント等検討し、機会があればと思います。
	28	(自立支援)協議会こども部会や地域こども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			地域の連絡会や交流会に勉強会に積極的に参加し、連携をとっています。
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者同伴となっています。毎回利用後、フィードバックと相談を行っています。
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			対応力を図るため、家族支援も念頭に置いています。
31	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時にご説明しています。おおよそ1ヵ月分の利用料のお見積りを説明しています。	

保護者への説明責任等	32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画を同意を得ているか。			家族の希望や要望、児童発達支援利用計画案、発達評価や発達検査の結果などを総合に捉えた上で児童発達支援計画を作成しています。
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		相談に対して助言できるようにと一緒に考える支援を目指しています。保護者同士の座談会など検討しています。
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	
非常時等の対応	35	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		苦情委員会を設置している。速やかに対応できるように努めている。
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎回利用時に療育活動を報告しています。
	37	個人情報に十分注意しているか	○		個人ファイルは鍵付き書庫に保管しています。
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		○	情報伝達手段としてカードや筆談にてコミュニケーションが取れるよう準備して言います。
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	検討いたします。
非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		各マニュアルに対しては、委員会を設置し作成しております。毎月会議を行い職員や保護者に周知徹底出来るようにしています。災害時マニュアルも作成しております。
	41	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		
	42	事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約時にお渡しする利用調査表を通じて、服薬やアレルギーの有無、予防接種などについての情報収集を行い、職員に周知しております。
	43	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	44	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		委員会にて事業所内共有できる体制をとっています。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		虐待人権研修の参加しています。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		事業所内研修しております。拘束は一切行いません。